

ルニ從テ衰微スルヲ見受ケル本組合ハ決シテ弊義ノ健全ニ
非ズシテ健全各自ノ健全ニテ自覚シテ持續ト究ニ後ノ健全
努力ヲサレシメトシテ也

(栗林四村、宮尾平兵衛、外ニ云々未論シ伊藤、弘田等ト
談心座リシカ、以テ勞働環境等ノ改善ノ方ヲ始メ、其ノ人々
ヲ勇テシテヤリテ見シ、此レト云フ也

為徳ノ力 栗山義照

勞働者ノ社會ヨリ請フ報ヲ受ケザラシムニ為テ勞働人
々々ノ抱負位ニテ外義ノ人々ニ依頼シテ安心ノ人々ニ非
ズ勞働運動ニ勞働者自身ノ運動ナリ資本家、官吏、
ニ直接ニ交渉シテ我々ノ向上ヲ計ルニ自覚的為徳ノ力
ニハ大ニ精神の修養ノ方ヲ始メ、其ノ人々ニ社會人々ハ

我々ニ同情ト理解ヲ得ニタルニ勞働運動ハ當局ト在リト
ノ交情ニ非ズシテ社會ト當局ト在リトノ交情ナリ故ニ健康
主義者ノ健固ニシテ為徳ノ強固ニ力アリハ必ズ其ノ力入
ホクニ直接ニ要求スレバトテ成功ハセズ運動方法ハ精神
的自覚ヲ要ス

感想

竹田七雄

勞働組合ノ発達ヲ期スルニハ勞働者各自ノ外的自覚ニテ
内的自覚ニ依ラサルヲカク其ノ為徳ノ力ニ依リテ資本主義
ノ山ヲ崩セ、而シテ山ヲ崩スニ在リハ、木ハ木、ト區別ヲ明
ニシテ彼ト取崩セ、一見斯ル事ハ不可能ノ如ク見エルモ、其
後ノ強固ノ力ニ依リテ能ク、日本ニ於ケル勞働者協會
ニ我々互ニ提携シテ主義、主張ヲ果サントシテ其ノ勞働